# 大山寺地区上質化推進基本計画【概要】

国立公園大山は、直近では大山隠岐国立公園満喫プロジェクトにおいて、大山蒜山三徳山地域、隠岐地域、島根半島地域及び三瓶山地域の一部として国立公園利用者の利用環境の整備や満足度を向上させる施策が行われてきました。大山寺地区上質化推進基本計画においては、これらの既存計画における取り組みの検証やこれからの大山寺地区が目指すべき姿の検討を通じて、国立公園大山の玄関口である大山寺地区のまちなみの景観改善とインバウンド客の受け入れ態勢整備を主に、取り組みの方向性に定める事業を実施することで、来訪者の満足度向上を図ります。

## 大山寺地区上質化プロジェクト協議会

（地元関係者、民間事業者、行政等で組織）

- これから目指すべき姿
- 地区が持つ課題
- 実現にむけて取り組む方向性　などの検討

・事業の進捗状況の管理
・計画へのフィードバック

〈計画コンセプト〉

**だれもが心地よく自然・歴史・文化を満喫できる大山寺地区**

〈地区が目指すべき姿〉

*自然と調和した歴史・文化が守られ活かされる大山寺地区*

*多様な利用者がストレスなく安心して快適に滞在できる空間*

・協議会において地区の課題、取り組みの方向性を決定

| 課題 | 取り組みの方向性 |
|---|---|
| 意匠やデザインが統一されていない施設や老朽化、屋外構造物による景観の阻害 | ① まちなみ等の景観改善 |
| 空き家・空き店舗 | ② 多様なサービスの提供<br>・空き家・空き店舗の活用推進<br>・自然環境、文化的資産の保護と活用<br>・ツアー、プログラムの開発とガイド育成 |
| 自然・歴史文化的資産を活かしたコンテンツの充実 | |
| わかりづらい案内標識 | ③ 来訪者の利用環境整備<br>・アクセス環境の改善<br>・案内システムの整備<br>・インバウンドを含めたユニバーサルデザイン対応 |
| インバウンド対応 | |
| 障がい者、高齢者を想定したユニバーサルデザイン | |
| 継続的な維持管理、メンテナンスの取り組み | |

・方向性に沿った事業を実施

## 取り組みの方向性に沿った事業の実施・検討

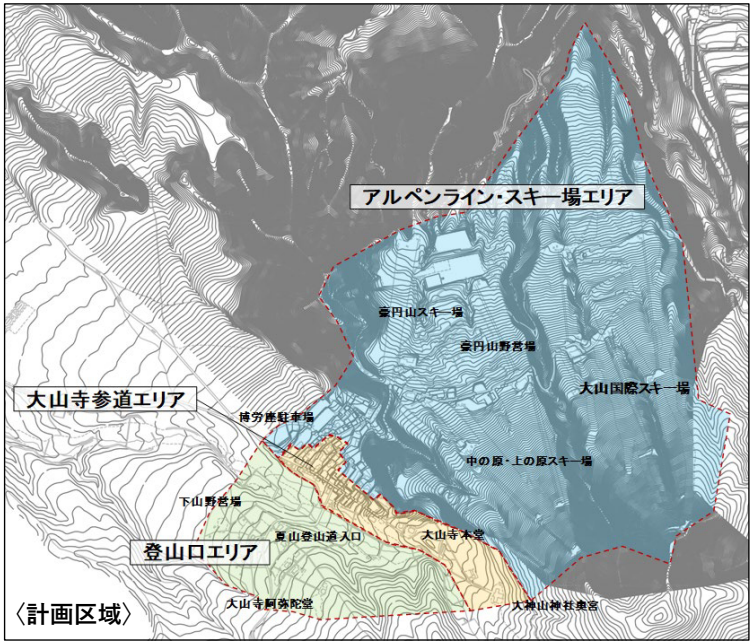
### ① まちなみ等の景観改善

例）老朽化した店舗や旅館などの建物等の修繕や模様替え、むき出しになって見栄えが悪い附帯設備の隠ぺいを行い、地区の景観向上を図る。

### ② 多様なサービスの提供

例）空き家や空き店舗をカフェや宿泊施設といった滞留拠点として整備し、滞在時間の長時間化と利用者の満足度向上を図る。

例）大山寺参道沿いや遊歩道等に隣接する自然や歴史文化的資産の解説板を多言語化し、インバウンドでも親しめる環境整備を図る。

### ③ 来訪者の利用環境整備

例）大山寺地区への入込客の増加や利便性・快適性、景観向上のために駐車場の整備、増設を図る。